



令和5年度 いじめ防止標語コンクール 優秀賞作品

優秀賞は6作品あり、毎号紹介しています

傷ついた 君の心に 気づきたい

中泊町立中里中学校 2年 成田 開 ※受賞当時の学校と学年です

青森県教育振興基本計画(2024~2028年度)を策定しました

～教育長メッセージ～

未来を担う子どもたちが笑顔で、学ぶことを面白いと思い、そして予測が困難な時代を生き抜いていく力を身に付けられるよう、子どもをまんなかに据えた教育を進めます。

子どもたちに「青森で学べて日本一幸せ」と思ってもらえるような教育を推進するために、市町村教育委員会や学校関係者等との連携の下、県民の皆様と一体となって取り組んでいきます。



【青森県教育振興基本計画】とは…

国の教育振興基本計画を参考として、青森県が地域の实情に応じて定めた教育施策に関する基本的な計画です。

次の3つをあわせて、「青森県教育振興基本計画」と位置付けます。

- ①「青森県基本計画『青森新時代』への架け橋」
…将来の青森県のめざす姿の実現に向けた、県行政運営の基本方針
- ②「青森県教育施策の大綱 あおもり未来教育ビジョンVer.1.0」
…県基本計画における教育分野の個別計画
- ③「アクションプラン」
…県教育委員会が取り組む施策・事業や、達成状況を把握するための指標・目標値を設定したもの

青森県基本計画 「青森新時代」への架け橋

2040年のめざす姿

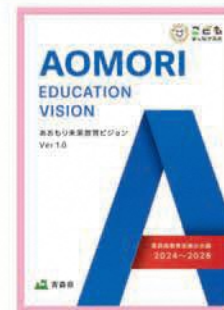
「若者が、
未来を自由に描き、
実現できる社会」



青森県教育施策の大綱 あおもり未来教育ビジョンVer.1.0

めざす教育

「子どもまんなか青森」
～未来を担う子どもたちのために～



アクションプラン

県基本計画における教育分野に関連する10の施策の実現に向けた主な取組や事業を整理し、また、取組を評価する指標と目標値を掲げて、教育施策のPDCAサイクルを進めていきます。



【10の施策】

- 施策1 「知・徳・体」の調和の取れた「生きる力」の育成
- 施策2 グローバル社会への対応と主体的に社会に参画する学びの推進
- 施策3 「生きる・働く・学ぶ」をつなぐキャリア教育の推進
- 施策4 多様な教育的ニーズへの対応
- 施策5 こどもの学びを支える教育環境の整備ときめ細かな指導の充実に向けた人財の確保・育成
- 施策6 学校・家庭・地域の連携・協働の推進
- 施策7 地域の強みを生かした地域づくりと人づくり
- 施策8 人生100年時代の学び直しや生涯学習の推進
- 施策9 歴史・文化の価値や魅力に対する理解と活用の促進
- 施策10 楽しく体を動かしスポーツに親しむ環境づくりと競技力の向上

※人は青森県にとっての「財(たから)」であることを基本的な考え方としており、「人材」を「人財」と表記しています。

※アクションプランの全文やパンフレットは、ホームページからご覧いただけます。



将来の魅力ある高等学校の在り方の検討について

県教育委員会では、令和5年度に青森県立高等学校魅力づくり検討会議を設置し、将来の本県高等学校教育を見据えた「魅力ある高等学校」の在り方について検討していただいています。

検討事項

- ① これからの時代に求められる力を育む学校・学科の充実について
- ② 生徒一人一人に充実した教育環境を提供するための学校配置について

学校・学科の充実の方向性について

第1 魅力ある学校づくりに向けた基本的な考え方

1. 検討に当たっての視点

- 急激に変化する社会における本県ならではの高等学校教育
- こどもたちの夢や志の実現を県全体が一体となって支えるための環境づくり

2. 高等学校教育の方向性

- これからの時代に求められる力と人財の育成
 - 不易な力 ● こどもたちの夢や志に応じた力
 - 変化の激しい社会において求められる力 ● 青森県や地域の発展に貢献できる人財
 - イノベーションを創出する志や創造性を持った社会を牽引できる人財
 - 職業の多様化に対応できる人財
- 高等学校に求められること
 - ウェルビーイングの実現と誰一人取り残さないきめ細かな教育の提供
 - 「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実に向けたカリキュラム・マネジメントの適切な実施
 - 各校の特色を生かし多様な主体と連携した教育活動全体の更なる魅力化 等

第2 これからの時代に求められる高等学校の魅力づくり

1. 教育活動の更なる充実 2. 多様な主体との連携・協働

- ICTの活用や特別な支援を要する生徒等への対応などによる教育活動の更なる充実と多様な主体の強みを生かした連携による各校の教育活動の深化

令和6年1月に開催した検討会議では、1つ目の検討事項の「学校・学科の充実の方向性」について、第1分科会から報告されました。

第3 これからの時代に求められる力を育む学科等の魅力づくり

1. 全日制課程

- 時代の変化等に対応するため土台となる基礎的・基本的な知識・技術の習得
- 新たな時代を見据えた学びの提供に向けた学科等の充実や改編・新設等の検討

2. 定時制課程 3. 通信制課程

- 多様な学びの機会の提供

第4 学校・学科の魅力づくりに向けた教育制度

- 現在導入している教育制度（併設型中高一貫教育、全日制普通科単位制、総合選択制 等）の充実・情報発信
- 導入校の取組状況を踏まえながら拡充・見直しを含めた今後の在り方の検討
- 時代や社会の変化に対応するための新たな教育制度の導入の検討

令和7年2月の検討結果報告に向けて

現在、2つ目の検討事項の「学校配置」について、第2分科会において、「高等学校教育を受ける機会の確保」と「充実した教育環境の整備」の2つの観点等から検討しています。
引き続き、審議を重ね、令和7年2月頃に検討結果を報告していただくこととしています。



検討会議の状況は、県教育委員会ホームページに掲載していますので、是非ご覧ください。
検討内容に関するご意見等についても、随時受け付けています。

ご意見等の宛て先

〒030-8540 青森市長島1-1-1 高等学校教育改革推進室
TEL:017-734-9866 FAX:017-734-8003
E-mail:E-KAIKAKU@pref.aomori.lg.jp



★★ 地域校の魅力化に係る取組を紹介します ★★

青森県立高等学校教育改革推進計画第2期実施計画において地域校として設置されている4校では、魅力化に向けて学校と地域等が連携して取り組んでいます。ここでは書き切れない各校の取組については、それぞれの高校のHPをチェックしてみてください!

鯉ヶ沢高校

- 野外活動部やTikTok部など他校にはない部活動
- 通学に配慮した校時（8時40分）、高校生が無料で利用できる「あじバス」の運行

六ヶ所高校

- 地域や企業・団体、大学と連携した探究学習や資格取得などの取組
- 通学バスの補助、部活動や学校行事等に対する支援

大間高校

- めんちょこ活動部による観光客を歓迎する旗振りや空き家を活用した高校生カフェでの活動
- 総合的な探究の時間等において地域人材を活用した出前授業等の実施

三戸高校

- アイデア・デザイン・情報発信等の手法を学べる授業の実施（三戸町魅力発信カリキュラム）
- 栄養バランスのとれた温かい昼食の提供

大学入学時奨学生・高等学校等予約奨学生募集のお知らせ

大学入学時奨学生募集 ～大学入学時に必要となる経費に充てるための奨学金～

- 対象 以下の①から④すべてに該当する高校生、高等専門学校生等
 - ① 保護者が青森県の住民
 - ② 令和7年4月に大学（通信制・短期大学を除く）の第1学年に入学見込
 - ③ 生活保護受給世帯もしくは市町村民税所得割非課税世帯又は児童養護施設等入所者
 - ④ 大学出願用調査票の評定平均値が4.0以上（児童養護施設等入所者等は3.5以上）
- 貸与額 10万円を単位とし、60万円以内の必要な額
- 申込期間

	募集期間	採用者数	採用予定時期
第1次	令和6年 7月 8日～令和6年 8月15日	50人程度	9月
第2次	令和6年 8月16日～令和6年10月10日	30人程度	11月
第3次	令和6年10月11日～令和6年12月23日	20人程度	1月

- 申込方法 県内の各高等学校等にある「大学入学時奨学金申込書」と添付書類を、在学する学校が指定する日までに同校へ提出してください。
- 貸与時期 大学の合格発表後（令和6年9月から令和7年3月までの間）
- 返還 大学卒業又は退学した月の翌月から起算して1年経過後8年以内に全額返還（無利子）。
- 返還免除要件 次の要件を満たす場合、願い出により奨学金の返還が免除されます。
大学卒業後1年以内に青森県内に居住及び就業（公務員を除く）し、引き続き3年を経過すること。

★詳しくは、7月に学校から配布される募集要項をご覧ください。ついてはこちらから▶



高等学校等奨学金 ～高校進学前に奨学金を予約する制度～

- 申込資格 保護者が青森県の住民で、令和7年4月に高等学校等へ進学を希望する中学3年生
- 募集人員 約500人
- 貸与月額 次のうち、必要に応じて希望する金額
ア：18,000円 イ：23,000円
ウ：30,000円 エ：35,000円
- 返還 無利子で、貸与終了後1年据置、貸与期間の3倍の期間内に全額返還（3年間貸与を受けた場合は9年間で返還）。また、失業等で返還が困難になった場合は、返還猶予制度があります。
- 申込方法 県内の各中学校にある「予約申込書」と添付書類を、在学する学校が指定する日までに同校へ提出してください。
※各中学校から公益財団法人青森県育英奨学会への締切は9月10日（火）です。



★詳しくは、7月に学校から配布される募集要項をご覧ください。



高等学校等奨学金についてはこちらから▶



夏休みは家族で縄文遺跡群にでかけよう!



「北海道・北東北の縄文遺跡群」は、令和6年7月27日に**世界遺産登録3周年**を迎えます!

三内丸山遺跡を中核とした青森県内の縄文遺跡群では、夏休み中楽しいイベント盛りだくさんです!

スマホでかんたん!!

縄文おでかけスタンプラリー 開催中!!

GPS機能付きスマートフォンを使用して、青森県内の縄文遺跡群と関連施設9エリアを巡るスタンプラリーです。

スタンプ獲得エリア数に応じて、豪華県産品などが抽選でもらえるさまざまな賞に応募できます!

1エリアでも応募できますので、お気軽にご参加ください!

開催期間 令和6年10月31日(木)まで



参加登録は
コチラ↓



世界遺産登録3周年記念「さんまる世界遺産ウィーク」開催!

三内丸山遺跡では、世界遺産登録3周年を記念したさまざまなイベントを実施します。

開催期間 令和6年7月20日(土)~28日(日)

開催内容 ○三内丸山縄文夏祭り 20日(土)、21日(日)

釣りや狩りなどの縄文時代の仕事を体験できる縄文ハンターや、ミニチュアの土器や土偶の発掘体験ができる発掘ひろばなどの体験イベントのほか、ステージイベント、あおもりべじまつりによるマルシェ、スーパーボールすくいなど、夏祭りならではのイベントを実施予定です。



○さんまる世界遺産の日 27日(土)

縄文遺跡群と湖池屋がコラボした新発売のポテトチップスの配布や「北海道・北東北の縄文遺跡群」の青森フォーラムを開催します。



○週末観覧料無料

期間中週末20日(土)、21日(日)、27日(土)、28日(日)は、遺跡を含む常設展の観覧料が無料です。(特別展は別途観覧料がかかります。)



問 三内丸山遺跡センター 世界文化遺産課 TEL. 017-782-9463

入場 無料 申込 不要 あおもり縄文カードプレゼント

フェア! 地元の縄文再発見

REDISCOVER THE LOCAL JOMON

青森県内に「縄文遺跡」は何カ所あると思いますか?何とその数、**3,586カ所!**(令和6年3月現在)。それも**全ての市町村**にあります。ひょっとすると「縄文遺跡」は皆さんの家の近くにもあるかもしれません。

「地元の縄文」再発見プロジェクトは、身近なところに縄文人が住んでいたことや、縄文人が地元に遺したすばらしい遺物をわかりやすく、楽しくお伝えする企画です。

今年度も「地元の縄文」を再発見するフェアを県内2カ所(三沢市・青森市)で開催します。令和4年から実施してきたこのフェアも**今年で最後**です。ぜひお越しください!



「地元の縄文」再発見フェアのページ

9月:フェア in かみきた!

●上北地域の縄文 — 三沢市公会堂
9.14(土)・15(日)・16(月・祝)の3日間 三沢市桜町1丁目6-35

12月:フェア in とうせい!

●東青地域の縄文 — 青森県総合社会教育センター
12.21(土)・22(日)の2日間 青森市荒川藤戸119-7

両フェアとも講演会・シンポジウムは日曜日の午後開催

①出土品展示会

地元の縄文土器や土偶等の「実物」を写真パネル等とともにわかりやすく展示・解説します。露出展示を基本としますので、縄文遺物を「直に」、「間近に」見ることができます。



あおもり縄文カードをプレゼントします!



これらのカードは令和4~5年に制作したものです。

②体験学習会

地元から出土した本物の土器や石器に触ったり、JOMON缶バッジ作りや縄文クイズ、弓矢体験、木の实割り体験など、子どもから大人まで「縄文」を満喫することができます。



③講演会・シンポジウム

ベテランの研究者による講演と地元研究者による地元の縄文遺跡の解説後、「地元の縄文」について楽しく議論し、「地元の縄文」グッズ等を考えます。



両フェアとも講演会・シンポジウムは日曜日の午後開催

問 青森県埋蔵文化財調査センター 資料保存活用グループ TEL. 017-788-5701

私たち、こんな活動しています! ~青森南高等学校グローバル探究科~

青森南高校グローバル探究科は、国際バカロレア (IB) の理念に基づき、国際的な視野を持ちながら多面的に考察する探究的な学びや、異文化交流、社会奉仕活動等の体験的な学びをとおり、**豊かな教養や探究心、チャレンジ精神等を持ったグローバルに活躍できる人材を育成する学科**として令和6年4月に設置されました。今回は、グローバル探究科での学びの様子をご紹介します!



新聞を使った情報収集や多様な価値観の受容、表現に関するスキルを高める演習を行っています



地域の現状を理解するためのフィールドワークを行っています



フィールドワークで学んだことについて、慈済大学附属高級中学(台湾)の生徒に英語で説明しています

県教育委員会では、今年もIB教育の理解を深めるための**IB教育シンポジウム**を開催する予定です。

シンポジウムの詳細については、今後、中学生の皆さんにチラシを配布するほか、高等学校教育改革推進室ホームページにも掲載します。ぜひチェックしてくださいね!

こちらもぜひご覧ください!

グローバル探究科について掲載教育広報あおもりけんR5増刊号



問合せ先

- グローバル探究科の教育活動に関すること
学校教育課高等学校指導グループ TEL:017-734-9883
- IB教育シンポジウムに関すること
高等学校教育改革推進室 TEL:017-734-9866

おしらせ

5月1日開設しました!

X・Instagramでも **情報発信中!**



青森県立図書館からのお知らせ

◆おはなし会

読み聞かせボランティアと図書館職員による絵本の読み聞かせや、子どもたちからリクエストのあった絵本の紹介を行います。

- 日 時 / 令和6年8月10日(土)、9月14日(土)、10月12日(土)
各日とも14:00~14:30
- 場 所 / 県立図書館 1階児童閲覧室おはなしコーナー

◆おしえて先生!知るしるする探検隊

科学の実験やいろいろな仕事の人の交流、スポーツなどの体験、本の紹介などを行います。

- 日 時 / 7月27日(土)「あもりのやさい」
8月24日(土)「防災~今からできること~」
9月28日(土)「さわって きいて たのしもう!」
各日とも14:00~14:30
- 場 所 / 県立図書館 1階児童閲覧室おはなしコーナー
又は4階集会室

問 青森県立図書館 TEL.017-739-4211

<https://www.plib.pref.aomori.lg.jp/>



◆特別展「作家とのりもの」開催!

青森の作家に関連する乗り物についての文学作品やエピソードを紹介します!

乗り物の模型や写真なども一緒に展示しますので、ぜひ見に来てくださいね!

- 期 間 / 7月13日(土)~10月14日(月)
- 場 所 / 青森県近代文学館

問 青森県近代文学館【県立図書館2階】 TEL.017-739-2575

<https://www.plib.pref.aomori.lg.jp/bungakukan/>



親子の絆「防災キャンプ」

親子でキャンプ(避難所体験)をしながら災害時に役立つ知識や技能を習得し、防災力の向上を図ります。

- 期 日 / 9月21日(土)~22日(日)
- 対 象 / 小学3年生~中学生とその保護者、防災に関心のある方
- 募集人員 / 親子10組30名
- 内 容 / 防災レク、防災講話、炊き出し体験、AED講習など
- 募集期間 / 8月28日(水)~30日(金)

問 種差少年自然の家 TEL.0178-38-2131

<http://www.tanesashi.jp/>



青森県立郷土館サテライト展「佐詰王国あもり~佐詰の歴史と食文化~」

戦前から戦後のなつかしい佐詰のラベルや、きのこ・山菜の佐詰を使った料理(模型)などを展示し、かつて「佐詰王国」と言われた本県の佐詰業の歴史や、食料の保存と利用に関する生活文化を紹介します。

- 期 間 / 令和6年7月11日(木)~10月23日(水) (青森県立図書館の休館日を除く)
- 会 場 / 青森県立図書館2F ロビー ※観覧料無料



問 青森県立郷土館
TEL.017-777-1585
<https://www.kyodokan.com>

三内丸山遺跡センターからのお知らせ

◆特別展「海がむすぶ縄文-津軽海峡と三内丸山-」開催!

本州最北端に位置する青森県は、縄文時代をとおして津軽海峡の対岸の北海道南部とのむすび付きが強く、生活や文化に様々な共通性があったことがわかっています。本展では、津軽海峡両岸を中心とした遺跡の出土品から、海峡を介した様々な交流・交易について解説し、両地域のつながりに迫ります。

- 開催期間 / 令和6年7月12日(金)~9月23日(月)
- 観 覧 料 / 一般/900円、高校生・大学生等/450円、中学生以下無料 ※特別展観覧料で遺跡を含む常設展も観覧可能

◆令和6年度「さんまる縄文体験」・「さんまる縄文文学講座」の参加者を募集しています!

さんまる縄文体験(予定)

- 8月17日(土)・10月19日(土) 土器を作ろう ※2回コース
- 9月 7日(土) 貝のアクセサリーを作ろう
- 10月 5日(土) 土偶を作ろう
- 11月 9日(土) 縄文時代の針を作ろう
- 12月21日(土) 石のアクセサリーを作ろう

さんまる縄文文学講座(予定)

- 7月28日(日) 北海道と本州の交流1
 - 8月24日(土) 北海道と本州の交流2
 - 11月16日(土) 出土品を楽しもう
- ※さんまる縄文文学講座の対象は中学生以上です。



体験、講座のお申込受付は先着順となります。詳しくは、三内丸山遺跡センターHPをご確認ください。

問 三内丸山遺跡センター TEL.017-766-8282

<https://www.sannaimaruyama.pref.aomori.jp/>

